

平成30年8月31日  
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題

(株)ファーム浮き布のJGAP取得の先に見えるもの

(ダイジェスト)

(株)ファーム浮き布は、年度内のJGAP取得をめざして今春から準備を進めています。JGAP取得は、顧客インの視点と社員意欲アップを目的にしたものです。8月23日には、社員全員で職場点検を行いブレストしました。次回9月初旬、稲刈りの前に圃場の点検を行い審査に備えます。

管内で米などを生産している(株)ファーム浮き布は、JGAP取得をめざして計画的に準備を進め、そのサポートを大田支所が行っています。去る8月3日には東京の5つ星お米マイスターから自分たちのお米のことを「美味しい」のは当たり前、その上で生産者のポリシーや栽培における工夫等10項目で整理する手法を助言いただきました。JGAP取得は東京でお米を売るにはポイントアップにつながり、来年度は東京の米卸が主催する米だけ商談会の参加情報も得ることができました。

大田支所ではJGAP取得の先に広がる可能性も加えながらフォローしていきます。



高祖指導員「帳票ばっちり？」

N担当「こんな感じで・・・」

高祖指導員「社員のモチベーションが大切です」

N担当「お米マイスターさんの話も交えたらいいかも・・・。お米の棚卸」

高祖指導員「次は稲刈り前に圃場でブレストを」

N担当「涼しくなるかなあ・・・」



危ないなあと思った事ありませんか？「はしごが・・・」「シャッターが」「農薬を調整するとき・・・」「ペアで仕事するので声かけが重要」

平面図に付箋を貼っていきました。

高祖指導員「結構出ましたね。次回、それを回避する方法を話し合います。」